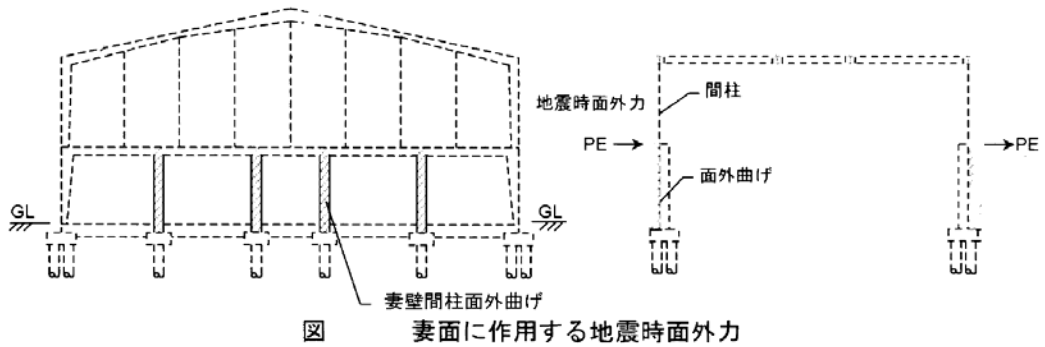


鉄骨造体育館等における妻壁間柱のIs算定に関して

下記の様な間柱に関して、ゾーニング検討でIs算定を行なっておりましたが、今後、Is算定での評価は行なわない事とします。



この部分のゾーニングIsが、建物を代表する耐震性能として評価しているケースがあるため、今後はゾーニング検討によるIs算定でなく局部的な破壊を生じるか否かを検討する事とします。

検討方法は $C = 0.30 \times Z_s \times C_I$

C:強度指標
Zs:静岡県用地震地域係数=1.20
CI:用途係数

C値算定は終局耐力による強度指標とします。

検討結果は片持ち部材等と同様に、「所見」および「至る要因」に明示して下さい。